<mark>コロナに負けるな!</mark> 元気・根気・やる気 <mark>楠橋小学校</mark>

二 共 育 二

学校だより第23号 令和2年9月9日

北九州市立楠橋小学校校 長 戸田 堅

プログラミング教育

2020 年度より小学校ではプログラミング教育が必修化されました。それは、急速な技術革新と共に情報があふれる時代において、① 情報を読み解くカ ② 情報を取捨選択する力 ③ 情報を図式化する力 が重要となってくるからです。各教科でプログラミング的思考を養いながら、「コンピュータの働きを理解すること」と「意図する処理がどのようにすればコンピュータに伝えられるかを理解すること」の学習も必要となってきます。

そこで9月4日(金)に、本校のICT サポーターである党先生から6年生を対象に、スクラッチというソフトを使ってコンピュータプログラミングの体験授業をしていただきました。

1. まず初めに、党先生からプログラミングとはどのようなものかを説明していただきました。





料理のレシピや朝起きてからの行動を、 手順を追って論理的に説明する際に、プログラミング的な思考が必要であることを 学びました。

2. 次に、スクラッチというソフトを使って、コンピュータに命令を入力し、その命令通りに 画面上の車が動いているのか確認しました。6年生の児童たちは熱心に取り組んでいました。











